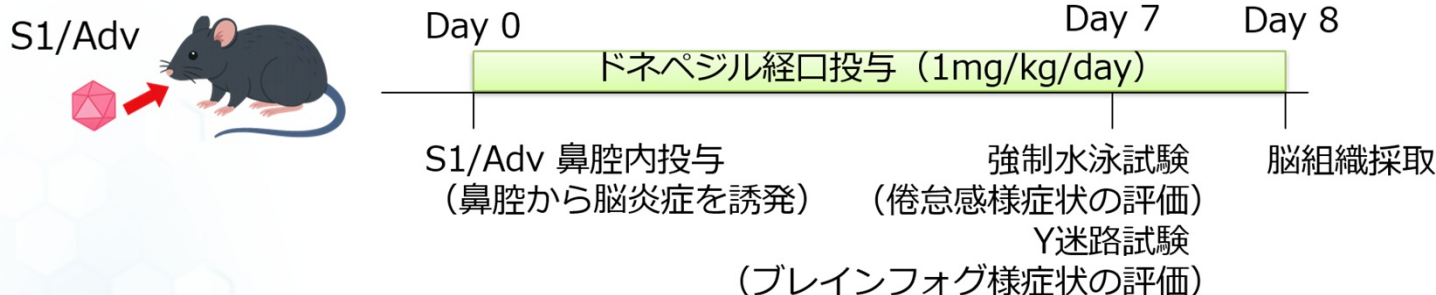




新型コロナ後遺症モデルマウスのご紹介

新型コロナ後遺症では、脳炎症、倦怠感、ブレインフォグなどの症状が知られています。今回、S1タンパク質を鼻腔内で発現させたマウスを用いた新型コロナ後遺症モデルをご紹介します。本モデルは、倦怠感様症状やブレインフォグ様症状を示すことが特徴です。

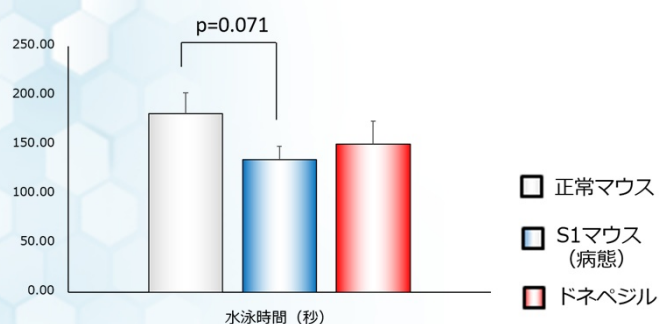
実験方法



評価項目

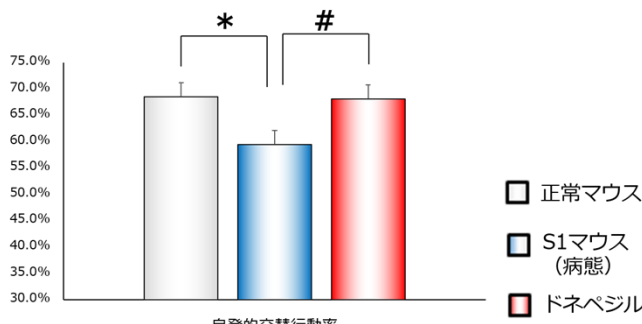
- ・強制水泳試験、Y迷路試験
- ・アセチルコリンの神経細胞の評価
- ・海馬神経新生及び細胞死の病理学的評価
- ・神経伝達物質含量（アセチルコリンを含む）の評価

強制水泳試験



Date are expressed as mean ± S.E. (n=10~22)

Y迷路試験

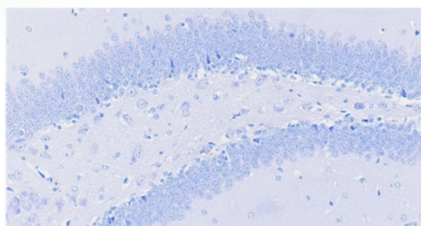


Date are expressed as mean ± S.E. (n=12)

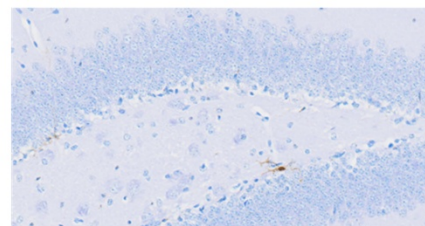
海馬神経新生及び細胞死の評価

- ☐ 正常マウス
☐ S1マウス (病態)
☐ ドネペジル

TUNEL染色

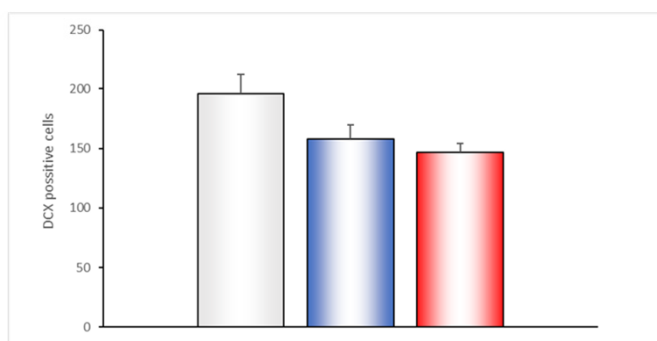


正常マウス



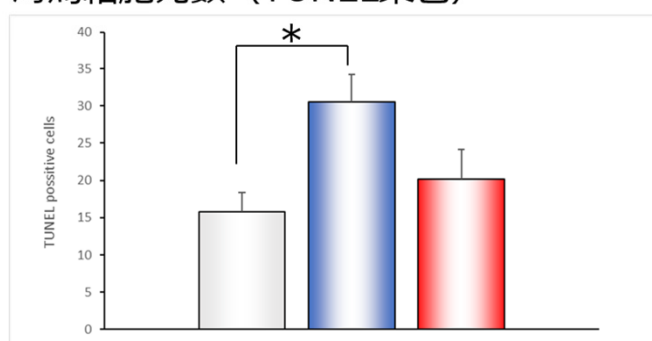
S1マウス (病態)

海馬神経新生数 (DCX染色)



Data are expressed as mean ± S.E. (n = 10).

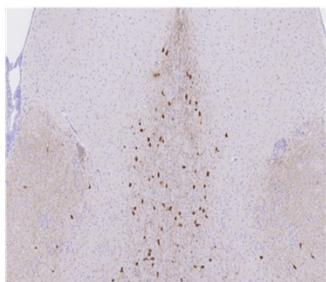
海馬細胞死数 (TUNEL染色)



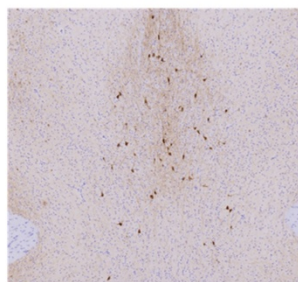
Data are expressed as mean ± S.E. (n = 10).

アセチルコリン神経細胞数及びアセチルコリン含量の評価

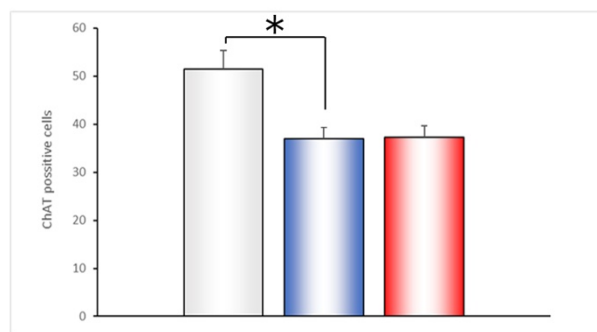
アセチルコリン神経細胞数 (中隔核)



正常マウス

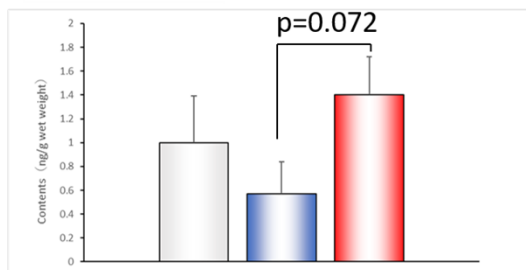


S1マウス (病態)



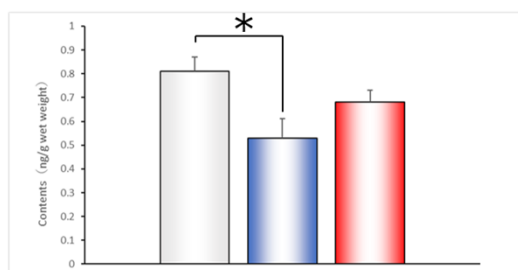
Data are expressed as mean ± S.E. (n = 10).

海馬アセチルコリン含量



Data are expressed as mean ± S.E. (n = 7).

皮質アセチルコリン含量



Data are expressed as mean ± S.E. (n = 7).

- ☐ 正常マウス
☐ S1マウス (病態)
☐ ドネペジル

当モデルマウスは、東京慈恵会医科大学の特許ライセンスを受けて作製したものです。